滿洲日報

三月六日

明治四十一年三月六日
金曜日（かのえさる）
西暦一千九百八年三月六日
淸暦光緒三十四年二月初四日

●發行日　毎日發行（但日曜日及大祭日翌日休刊）
●定價　一枚金參錢　一個月前金六拾錢　半個年前金參圓四拾錢　一個年前金六圓五拾錢
●廣告料　五號活字十九字詰一行一圓金參拾錢　同特別廣告金六拾錢
發行人　島井實
編輯人　和田啟喜
發行所　奉天大西關　滿洲日報社（電話二二一番）

雜報

墺國の巴爾幹政策

月下列國間の問題となれる澳國の巴爾幹鉄道問題に關して澳國外相エーレンタール男が、去月下旬、澳匈國議會の外務委員會席上に於て爲せる演說の詳報左の如し

澳國の巴爾幹政策は領土の獲得を庶幾するものに非ず其目的は經濟上に在り、漸く大發展の域に達せんとせる巴爾幹半島の諸邦は、之に依りて利する所更に偉なるべく澳國の責任亦大なり、小亞細亞及びメソポタミア通商の開發は、獨逸大成功なりと雖も列强亦土耳斯富源の增進に努力せり、而して其目的は東西通商の發展に在り、澳匈國はボスニアを領有する點に於て、一巴爾幹强國たるを失はず、澳國がボスニア東方鐵道を延長して、土耳斯及塞爾維の國境に至らしむるは、將來發展の基礎を置くものなり、其中塞爾維聯絡線は目下工事中にして、土耳斯聯絡線即ち、ボスニア東方鐵道を延長して、土國ノヴヰバザール郡のミトロウヰツァ線と聯絡せしむる鐵道の敷設に就きては、土都駐劄の澳匈國大使をして、土地測量の許可を土國政府に要求せしめたり

此鐵道完成せば、澳匈國はセラジエヴォを經て、直ちにイーヂアン海及び地中海に通商するを得べしラリッサに於ける土耳斯希臘兩國鐵道の聯絡亦近きに在り、（嘗て伯林電報に見えし）かくて維也納よりブダペスト、セラジエヴォ雅典及びピレーンスに到る鐵道完成する曉ば歐洲中部より埃及印度に到るの最捷徑を得べし、澳匈國は土都に於て熱心に希臘の努力を援け、ラリッサに於ける土希兩國鉄道の聯絡を成就せしめんとせり、モンテネグロ國に通ずる鉄道も、近く其設計を議るべし云々と、男は更に其結論に於て陳べて曰く

予が澳國の政策を考量するに當りて常に記憶せざる可からざるは、澳匈國が五千万の人口を有する大帝國にして、其邦土が歐洲中部に位すると同時に、東歐の門戸たるの一事なり、東歐には未だ解決せられざる重大なる多數の問題存す、我武力の强大ならん限りは、吾人の聲は世界の外交場裡に重きを成すべし

と、而して氏は、議會に對し陸海軍費を變更せざるべきを要求したり

此演說中に見る如く、今回澳國が土國政府に敷設の認可を要求せる巴爾幹鐵道は、ボスニアのセラジエフォとノヴヰバザールのミトロフヰツァとの間に敷設するものにしてセラジエフォ以北及びミトロフヰツァ以南には各澳土兩國の既設鐵道あり、澳國はノヴヰバザールを橫斷し此二鐵道を聯絡し以て澳國鐵道を歐羅巴土耳斯東海岸のサロニカ港に直通せしめんと圖れるなり今回巴爾幹問題の根本原因は實に玆に存ず而してサロニカ港の占領は澳國多年の宿望なりと揣摩せらる、因に云ふ、土耳斯鐵道の終點ミトロウヰツァはノウヰバザールの主都にして、ノヴヰバザールはモンテネグロ塞爾維兩國間に介在し、且つボスニアよりサルニカに通ずる街道を要し、從來軍事上甚だ重大視せらるゝ一地點なり、一千八百七十九年伯林條約により、澳國はボスニア及び之に南隣せるヘルツエゴフヰナを占領すると同時に、ノヴヰバザールに關し、道路建設、軍隊駐屯との特權を得たり、故に此地は圖上土耳其領たるも其實權は全く澳國の掌握裏に在りて、事實上毫も占領と擇む所なく、世間亦之を稱して澳國のノヴヰバザール占領と云へり、而して其目的はモンテネグロ塞爾維兩國の接近を遮斷せんが爲めなる事瞭なりとす、今回澳國が鐵道敷設の認可を、特に土耳斯政府に請へるは伯林條約により澳國が此地に關して得たる特權中、鉄道敷設の事なければなるべし、

蒙古狀況一斑（二）

五、蒙古人と禮式

蒙古人の儀式上缺くべからざるものは鼻煙壺兒なり彼等の相會するや必ず壺兒を取出し互に取り換へ押し頂きつゝ時候の挨拶より父母兄弟親族等の安否を問ふ、禮終るや壺兒は再び交換せらる、其嚴なること証書授與に於けるが如し、而して後己れの席に復し談他に及ぶ、正面を主人の席となし餘は隨意たり、然れども若し己れより上級の者來る時は必ず席を讓づるこ▲我國と異なることなし

余等旅行中僅かに一回正白旗御料牧場にて大禮の馳走を受く羊の丸煮其儘を大皿に盛り來る別に乳酒（牛乳にて釀造せし酒）を添ふ、余等の案内者は各自小刀を以て切りつゝ食ふ、彼等の一人主人公となりて待坐す余は案内者の注意に依りて牛斤餘の肉を切り與ふ、主人公は又一塊の肉を切り去り初めて入り來りし者に與ふ、余等の食事を終るや彼は大聲にて叫びつゝありしがやがて牧羊者即十四五歲の小供來る、彼は再び一小塊を切りて與ふ、然る後母屋の方へ持ち去れり、暫時にして牛乳と羊肉を混じたる粥來る、余等食し終るや先きの二人再び入り來る共に一碗の粥を與ふること先きと同じ於是全たく食事を終れり、案内者說明して曰く、珍客に非れば此禮は行はずと

六、蒙古人と家庭

余等一つの家に滯在すると永からざるを以て彼等家庭の趣味を深究すること能はざりし、一言すれば彼等は比較的に和氣藹々の家庭を構成しつゝあるもの▲如し、余等旅行中家庭に鬧者ありしを聞かざりし、又漢人の如く喧々騷々の狀を見出すことさすらあらざりし、彼等は家庭を以て唯一の樂天地とするもの▲如く、敢て美衣美食を欲するに非ず、又物見遊山を願ふに非らず、十里を行かざれば以て隣村に達すること能はざる彼等の境遇に對しては家庭を以て天國とする亦宜ならずや、良人の牧場より歸るや婦は其凡てを盡して之を勞ひ馬の手入れ、牛羊を柵中に追ひ込むより牛乳を搾るまで一も良人の手を借ることとなし、彼等は此心を以て其愛兒に接す懇からんと欲するも得べからず

七、蒙古人とラマ敎

蒙古內地を旅行するもの、最も驚かさるものは喇嘛寺なり、"殿宇千里人影絶ゆ"とまで思はるゝ中に巍々壯麗華美を盡せる寺を發見するとは世人の想像にだも及ばざる所なり、而して喇嘛僧は其中に住せり、彼等は蒙古に於ては最高位置を占め他人の尊敬する所なり、喇嘛僧は到る處に散布せる、是れ蒙古の風習として多數の男子を擧ぐれば其內一人或は二人を必ず僧となして祖先の冥福を禱らしむるなり、漸く長じて一人前となるや此等に從ひ、十三四歲に達するや各歸來す、家に在る彼等は遊食の民にして每日讀經を以て己れの業とし已むを得ざるの外は殆んど家事に關することなし彼等の各地に散在するものは幾年に幾回必ず御寺詣をなす余はイエルホイオイにて十四五歲の喇嘛僧を見る、即ち御寺詣の爲めナベナル三百四五十淸里より來れりと、同行者なり、貯へある樣子も見へず、彼等は各

旅順の守備を嚴にするの妨げと爲り爲めに閉城は速かならしめたりと云ひしより之が創建者と目指されたる當時の大藏大臣ウキッテ伯が長文の駁論をノーウオエ、ウレミヤ紙上に揭げてダリニー商港の建設はクロパトキン將軍の贊成したる所にして恰も其指定に出でたるが如きものなりと素破抜き兩者の間に互に論爭ありたることは曾て本紙にも揭載する所ありしが曾て日露戰爭の當時關東州民政長官兼旅順市會議長たりしウエルシニン氏は此度レーチ新聞に「ダリニー市を棄したる者は果して誰ぞ」と題する一文を揭げたり、面白ければ此に要領を揭げん曰く

余は露國の經費を投じて造り乍ら日露戰爭の際は本人の旅順に對する結構なる作戰根據地と爲りたるダリニー港と市とが何人の考案に出でしものなるや否の問題に就き曾て國務大臣たりしクロパトキン將軍とウキッテ伯との間に起れる爭論を興味を以て閱讀しつゝ余の實見したる左の一事實を記憶せざるを得ず一千九百三年大藏大臣ウキッテ伯旅順口を視察したる時黃金山より市と港と其附近とを眺望しつゝ其前に開きたる地圖より目を該地方に轉じて高聲獨語して曰く此に市街を作るの地面なく商船を繫留するの餘地なしと余言へるは何事ぞ、此に市街を作るが爲めにも亦多數の商船を繫留するが爲めにも綽々たる餘地ありさへば何ぞ亦ダリニーに築港するを要せんや次で藏相ウキッテは我が商船が何處にも堅牢なる碇繫所を得ること能はざる悲運を嘆じて我國のクロンスタット、セワストボリ等の如き港灣より商船は到る處軍艦の爲め逐ひ出さる新商港の建設は我が財政の重負たり、我はダリニーの建設を策したるに非ずと、嗚呼然らば之を策したる者は果して誰ぞ

辰丸と淸國側の意見

第二辰丸事件に關する淸國側の意見を聞くに淸國は當初より決して事を好みて非常手段を取りたるにあらず全く同船搭載貨物中に軍器密輸入の嫌疑ありたるものにして夫に相當の理由あり即ち辰丸が澳門外の領海に假碇泊をなしたる當時は恰も滿潮にて又風波もなかりし故潮合を待合せたりとか或は風波の害ありしと云ふことは毫も理由とならず又荷主は獨逸人なるが如し而して該軍器は南清邊に散在せる革命黨に賣込まんとするの形跡ありしかば淸國は止むを得ず非常手段を以て差押を行ひ一方總督よりは日本領事に向け通報を發したり右は海關の規則に依れば五日間以內に抗議なくんば當然淸國政府において沒收すべきものなるが日本領事より期間を經過して後海關規

四肢强直し痙攣を起して絶命した次に鷄卵を以て行ひたる試驗に於ても腐卵の場合はど劇烈では無かつたが矢張同樣の結果を呈した鷄の卵殊に卵巢より抽出せる成熟卵を以て前法の如く行へば其奏功最も著しくといふ以上の事實より考ふるに食物として卵黃のみならず卵白も同樣の結果を呈する消化器より採る時は是等卵中に含有する毒素は其作用を現はし得ざる所より見れば消化器より此毒素に反抗する抗毒素を分泌さるものであらう

文苑

雜吟

よき日和に水戾りけり水涸れ池　同
鉢の蓮水さへ土に涸れにけり　波空
水涸て落葉を踏むはゐもり哉　同
水涸の溜り水風呂に焚きに炰　梅痩
蛾跡や引き水涸れて雨霰　鵜平
萬水の一水涸れず神提け　括瓠
雀甕枝にからびて水涸る、　柯風
餅花柳伐りけり水涸る、　牛歩
水涸れに石も孕まぬ蛇籠かな　十老

講談

本町小町 五福屋政談

邑井一講談

（第十四席）

「イヤ又藏や己れはもう世の中に何にもないがお前は先が永いから何でも心得て置かなければならぬから話をして置んだが法律やら云ふものは面倒なもので己れが若けへ時分に室町に小間物問屋で……此間まで家名を覺へて居たがあゝ年を取つてはいけねへのつい家名を忘れたが隱居が船で花見の時に歸つて來ると兩國橋で女の身投があつてそいつを助けてまあ蘇生したんだ段々聞ひて見ると男の方が死んで仕舞つたんださうでつい其娘を隱居が其儘無沙汰に己れの妾にして置たが後に發覺して言取りが惡るかつたんで隱居は遠島になつて親の罪は子に係るもんだと云ふんで通りの小間物問屋は缺所になつた其時段々心得のある人に聞いて見ると情死をして男女を速に助けて屆け出ると身分のある者にはお譽言葉身分のない者には御褒美を戴かせる全体御褒美よりお譽言葉の方が重いものだそうで夫れだから身分のある者は各々を助け夫に反して情死として女か男方々を助けて直ぐに御訴へ申上げれば何にもお尤めはないが包み隱して後々發覺して言取りが惡いと家は缺所當人は遠島にもなるやうなことでまあそんなことはめつたにあるべきものではないがほんのまあ私が老婆心に言つて置んだ　又「へー……又藏飲んだ酒も苦味が生じて　又「ア、唯だ己れの身体を壯健にしたい斗りにあの若者を助けてやつたが多分出家にはなつたらうが其後は手紙も寄越さず其れなりになつて居るがそりあ大變なことをした併し知つて居るのは家の者ばかり世間では知るまい、とは思ひましたが又藏は大きに胸を痛めましたがまさか年を取つた老父に心配をさせる譯にも往かず其儘月日を送つて居りましたが其年の三月になつて櫻がもう開いたので世の中は大變陽氣になつて今日はお豐の髮の結ひ日だから甚吉の女房のお松は　松「今日は　豐「おやお松さん　松「大層今日はお靜かで……おやお父さんは　豐「餘んまりお天氣が好いので向嶋に櫻を見に今日はお出でになりました　松「あらまあ何故御一處にお出でなさいませぬの　豐「私は混雜の場に出ますと目廻のする性でございますから何時でもモウあ　松「

お松とお豐は頻に往來を見て居る坊主の牛醉が通る老若男女いやもう皆んな酒に醉つた人ばかり　松「本當にまあ侍の醉つたのは見つともないものでございますねえあらまあ彼處に好い年をしたお婆アさんが三味線を彈きながら前髮を被つて見つともないぢやありませぬか、と云ふ折しも二十二三の立派な若旦那黑仕立の着物に黑のお羽織長物を一本打込んで雪駄穿きで跡から小僧が上下たとうと云ふものを擔いで附いて來る、今は上下と云ふものは不用になつたが昔は商人も麻上下を着たものだが正月の中に上下を着けて歩行くのは平氣だがもう三ケ月過ぎて四月になつて上下を着て步行くと何となく可笑しなもの故其いつを供に持たして儀式の時には其箱に入れて先方に往つて下足番で着たものでございます　若「どうも此雪駄は鼻緒に痛つて堪らねえお　小「い思ひ切つて前鼻緒を引延して呉んなあ、若旦那ちよいと其處に出張つた窓があるから其處に捕つておいでなさい、と若旦那は窓に摑つて小僧は主人の雪駄を取つて　小「成程こいつは邪見に堅へ雪駄だウーン〳〵　若「其方の方を　小「ウーン〳〵、と引つ張り出した

社告

奉天紀念日と我紙

三月十日奉天陷落紀念日は翅に在奉天居留邦民の記臆すべき吉辰たるのみならず亦た我在滿十萬同胞及び帝國臣民の齊しく慶祝すべき吉日と爲す故に我紙は同日に於て此の紀念すべき盛典を祝すべく其の頁數を增加し材料を精選し趣味を豐富にし以て讀者平生の愛眷に酬ひんとす

三月　日　滿洲日報社

倫敦電報 (二日發電)

●**波斯皇帝の遭難** ロンドンタイムスのテヘラン通信員は報じて曰く波斯皇帝は行幸の際一個の爆裂彈を自働車上に投げられしが二十名の負傷者と三名の即死者を出せり皇帝は該自働車に在らずして後方遥かに馬車中に在りたれば無事なるを得て宮城に還幸す

●**加奈陀移民律の修正** 加奈陀移民律は海上よりする者に限らずして更らに陸上よりする者にも適用さるゝ事となりたれば逮捕されたる邦人は送還さる可し

●**英征の軍隊遠終了** 英軍隊のザッカケール遠征は終結してバラ山谿を引揚げ久しからずしてペシヤワルに達せんとす

伯林特電 (二日發電)

●**阿國大統領の遭難** アルゼンチン共和國大統領は爆裂彈の厄に遭遇せしが僅かに無事なるを得たり

●**飛説の否認** 紐育ヘラルドは獨逸政府が對滿政策に關し大外交的手段を弄す可く米政府に提議する所ありたりとの蜚説を放ちたりしが獨米兩政府は極力之を否認せり

●**獨帝の外遊** カイゼル皇帝は本月二十四日ヴェニスを經てコルフに向はる、豫宛なるが還幸の途次はウインナに休憩さる可し

金銀時計。貴金屬寶石類。美術製作品。眼鏡類。一切歐米新式文房具。化粧品。歐米高等雜貨類。各種

大連特電 (六日發電)

●**滿鐵社員任用の內容** 鐵道作業局員が在官の儘滿鐵會社社員たり又は其業務に從事する者に對する四月一日以降の待遇法は帝國鐵道廳の例に據り任用せらるべく且つ日本官吏が外國に應聘せられたる場合の如く特置官として滿鐵に從事することゝなるべく其の恩給は無論繼續すべしと當局者は語れり

●**二六社主來る** 二六新報社主秋山定輔氏は來る十五六日頃來連し更に長春を經て歐洲漫遊の途に上るべき筈

●**斯波技師** 在連中なりし斯波鐵道技師一行ハルピンに向へり

●**犬塚理事** 豫し噂ありし滿鐵會社犬塚理事の歸朝は今暫し延期することとなれり

●**徐氏の來連** 徐總督は晚くも四月頃には來連の筈なり而して其投宿所は滿鐵總裁社宅を以て之に充らるべく社宅の修膳は不日落成すべし

●**總長の披露宴** 日下部外事總長は七日當地官民をヤマトホテルに招待し盛大なる就任披露宴を開催する筈

雜報

●**清露鐵道購地契約** 清露兩國委員が吉林に於て訂立したる東三省鉄路公司の吉林鉄道用地購買に關する章程內容條件の概要は左の如し

第一條 此度契約を經たる後は彼此れ永遠に遵守し鐵道公司需用の地面は均しく此の契約の部分に留め永遠に敷衍せず

第二條 吉林省東段の鐵道所用地面は東は小綏芬交界の停車場より起り西は阿什河停車場に至る五万五千淸畝(各停車場及線路の明細敷地は別に細表を附す)にして公司に於て壕を控ちて界を作り地面は都べて代價を徵したる後公司の財產と爲し鐵道條約に照し辦理す

第三條 鉄路公司需用する場合に從前已に價を給したるものを除く外其未だ價を給せざるものは應さに三等の地價に分つべし第一は熟地にして阿什河に在ては一頃每に露の七十二元第二層甸子帽兒山一面坡海林五站摸道治子に在ては露の四十五元烏吉密蒸沙河穆稜上石小綏芬石頭河子小嶺嶺牡丹紅磨刀石高嶺子台馬溝馬家河太平嶺細鱗河に在ては露の三十七元と定め第二は合用荒地にして阿什河に在ては露の三十元二層甸子等の六ヶ所に在ては露の二十元烏吉密等の十四ヶ所に在ては露の十六元五角と定め第三は有水荒地にして阿什河に在ては同十五元二層甸子等廿ヶ所に在ては同十一元と定む

第四條 鐵道公司需用の官地に對し拂下げを願ふ場合は地面を分等せず毎畝均しく露の八元と定む公地、亦同樣に辦理す

第五條 鐵道の停車場は大小を問はず淸國の會同を求めて地勢を查看し停車場附近の地方に於ては力を竭し法を設けて淸商の爲め便利の地段を作るべし此等の地段は淸國官商に於て自ら經理せしむべし

第六條 大停車場即ち阿什河一面坡橫道河子五站の四ヶ所の如きは均しく停車場附近に於て華官廳を建造するに適當なる地を留出すべし並に沿路各停車場に於ても交涉分局を設くるの地面を存留すべし此の二項は淸官に於て自ら經理すべし公司の給價を要せず尤も公衆の治安に妨げあるを得ず

第七條 鐵道各站界內に廬墓村莊城市廳等あるものは原建鐵道條約第二條に照し皆須く法を設けて繞り越すべし其已に給價し並に立退きをなしたるものは均しく此項代價の內より控除すべし若し其地が鉄道必需の地にして繞り越すべからざるときは有らゆる遷讓の房園井樹墳墓は均しく公司より現在の情形を按じ優に從って價を給し以て遷移延遲に便にすべし

第八條 瀕河の線路凡そ船隻を通ずる河道に橋梁を修築する等の場合は須く淸官と會同し行船に妨げあるを得ず云々

第九條 鐵路公司所用の官地若くは民地內の材木は別に價を給すべし若し礦產あるに遇へば須く別に辦法を議すべし此等は此契約の內に包含せず

第十條 鐵路公司占有地界內の有らゆる房產は此の契約調印の日より原業主は舊に依て三ヶ年間居住するを得若公司の需に遇へば別に公司より立退き料を給す可し

第十一條 東省鐵路公司は淸官の會同を求め委員を派して地勢を查看し需用の地…は其頃數を算し地圖を附し淸官の手を經て巡撫に呈し存案すべし云々

第十二條 鐵路公司民戶地價の給價をなす時は淸官に通知し會同の上辦理すべし…其給價文據及び各地圖は均しく淸官の關防を經て以て信守を昭かにす

第十三條 本契約は淸露兩文を用ひ二通を作り一は吉林巡撫衙門に存留し一は東省鐵路公司に存留し若し辯論あるに遇へば淸國文を以て準となす

●**辰丸事件の顛末** 目下日清間の問題となれる第二辰丸抑留事件に關し安宅商會香港支店より日本洋行より或筋に特報し來りたる顛末は左の如し

モーゼル銃一千五百挺、彈丸四萬發及び其他石炭雜貨を積める滊船第二辰丸が二月五日午前十一時頃遙に澳門の海面に現はれたるを認めて同地の荷受監督の爲め出張しゐる繁會員松島君は直に澳門港務局の小汽艇に同局員及び同局附屬の水先案內と共に同乘本船に向へり折柄天候險惡の爲め波浪に搖られて艇は木の葉の如く約二時間餘を費して午後一時半本船間近に辿付きたるも浪高くして艇を本船側に付く可からず漸く本船より萬一の際を慮り綱を付したる傳馬船を下し其れによりて本船に轉乘せり水先案內人は此時本船投錨地は澳門領外なるを以て轉錨せよとの事に船長早速轉錨に着手し澳門港內に向ひたるも折柄干潮時にて水深淺く且波浪高くして危險なりしが爲め海面の靜穩となると滿潮時とを待って轉錨すべく一時此點に假泊せり此地は東經百十三度卅八分廿秒北緯廿二度九分四十五秒なり勿論未だ荷揚には着手するに到らず此時何處よりともなく淸國砲艦三隻及び武裝せる稅關汽艇一隻現はれ本船近く寄集り本船を包圍して其內の旗艦とも覺しき一艦より汽艇を飛せて本船へ轉乘せしは淸國水師參將吳敬榮、副官王某及びキャピテンナイト外に數名の洋人稅關吏等にして直に船長に向ひ本船と武器搭載の有無を取調べ船長より其澳門行として正當に積荷せる旨を答へたるに本船は武器を搬載せるに拘はらず淸國領海內に投錨するは不法なり實は本船日本出帆以前既に或筋よりの報道にて本船は神戶より武器を搭載して澳門に向ふることを逸早く耳にし去月三十一日より其筋の命令を受けて本船の淸國領海內に投錨するを待ち受け居れり投錨すれば荷揚げするに違ひなし故に日淸條約に照して本船を廣東に引率すべしと主張せし故船長は此投錨は滿潮を待つと風波の靜穩を待つ爲めの假泊に過ぎずと述べしも聞き入れず兎に角廣東道臺へ打電すとて其日は立ち歸り外人稅關吏三名及び武裝せる兵士二十四名を乘込ましめ其夜の警戒を嚴にして一夜を明せり(未完)

…吉廳警務整頓の爲め徐總督は奉天より警…を拔擢して差遣すべき事は既に報導せしなるが該警兵の撰拔は已に畢り昨日を以て第一班二十六名は王家勳引率し當地を出發北上の途に就けり第二第三班は不日陸續發足する筈なりと云ふ

●**同文會の新計畫** 東亞同文會はさきに同文書院生徒の研究調査に成れる支那經濟全書を發行せる成蹟により今回支那經濟調查部を設け上海同文書院出身者及び之れが關係者にして淸國各地にある者をして各種の調查報告をなさしめ月定期出版の計畫ありたる處愈々其準備成り今月より實行する事になり滿洲にては大連、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、長春、吉林等夫れ〳〵同文書院出身者にして其任に當る者を定めたりと云ふ

●**二巡撫の總領事訪問** 黑龍江巡撫程德全及び吉林巡撫朱家寶の二氏は本日總領事を訪問す

青物 乾物 諸罐詰 海產物

和洋諸紙 紙小間物類一切 和洋帳簿

●**鉄道材料の免稅許可** 黑龍江チ、ヘルより昂々谿に到る間輕便鐵道の布設さる可き事は久しき以前より世人の知悉せるところなりしが這般愈よ其の布設を實行する事となり一切鉄道材料の免稅方を其筋に請願中なりしが過日之れに對して許可ありたり

●**蒲鹽自由港閉鎖** 蒲鹽總理大臣ストリピン伯は沿海州選出議員を招き蒲鹽自由港閉鎖の止むを得ざるを說き同時に道路の改築電線の增設を爲す要あることを述べ且つ黑龍江鐵道に關する意見を問ひしが義員は同地方開發の極めて必要なるよと說けり

●**鐵嶺商品陳列館狀況** (明治四十一年二月二十九日調)

▲**本出品の狀況** 一月三十一日見本品出品申込總數二万九千七百三十五點に對し本月に於て二十三點を增加し二月二十九日現在數二万九千七百五十七點の總數を示せり

▲**觀覽人の狀況** 本月二十九日間に於ける觀覽人總數二千六百七十五人にして內日本人一千二百二十一人淸國人壹千四百五十三人婦人五十二名佛蘭西人三名を計上せり觀覽者中重なるものを擧ぐれば關東都督府星野陸軍參謀長仝太田黑參謀及東京興信所員杉浦和作並に佛蘭西人等なり

▲**鐵嶺の商況** 前月に比し格別の變化なく依然金融逼迫商況不振の裡にあり殊に本月は淸曆の正月に入りたるを以て淸商は從來の習慣上一般月の過半を休業して商取引を爲さず隨て地方の顧客も亦薄らぎ至って沈靜の姿にあり當地淸商にして正月休業に引續き開店を爲さざるもの廣潤溥外十餘軒ありたるによりて其原因を探究せしに昨年不作の結果は一般農民をして公費を節減せしむるに至り爲めに商品は甚だしく不捌の狀態を來し又貨物に對する納稅率高騰し之を三年前に比すれば約三倍內外を增徵せられつゝあり故に自然一般物價騰貴は已むなきに至り其結果商況愈々不振となり且つ店費は益々嵩み加之商務分會學校衛生等の公共事業勃興すると共に其負擔亦尠なからざるものあり從て此狀態に在りて商行爲を爲すも到底收支相伴はざるの悲境に陷り閉店の餘儀なきに至りたるものなり然るに世上は破綻に瀕せるが如く風評し爲めに一時恐慌を來さんとするの傾向ありて市場は之が警戒を加ふるに至りたるも其眞相は世評の如くならざるを以て或は一二の破綻者あるも當地附近に於ける經濟界には格別の反響を及すが如き事なく目下の處は至て靜穩の姿にあるが如し

大豆は淸曆正月中は地方の出荷も少なく亦一般淸商は休業せるを以て自然歲末に於し買込みし現物を持續の姿にあり爲めに本月中旬に至り壹石に付九圓八十五錢の高價を稱へたるも現物市場に現はるゝに隨ひ漸次下落し本月末に於ける相場は壹石に付支那小銀貨九圓四拾二錢を稱へ居れり

豆粕も亦大豆同樣一般休業と出荷僅少加ふるに日商の買煽ありたる結果等に依り先月末壹圓參拾貳錢にて手合せ爲したるも本月中旬に至り一躍壹圓四拾五六錢の高値を現したるも之亦大豆同樣漸次下落し本月末に於ける相場小銀貨壹圓參拾七錢を稱ふるに至れり

●**三江會館の團拜** 徐總督並に唐程朱三巡撫は昨日三江會館の催にかゝる團拜に參列したり三江會館に於ては演劇其他盛なる餘興ありたり

●**窮民護送** 昨日午前十時承德縣衙門より窮民約百三十名に巡警數名付添京奉線にて新民府へ護送せり

●**副領事の賜暇歸國** 總領事館堺副領事は賜暇を得て來る十五日頃內地に歸還するよしの事なり

●**徵兵身体檢査の日割** 關東洲南滿洲に於ける本年度の徵兵身体檢査施行日割は左の如し

地名	檢査擔任部隊	檢査日	檢査場
旅順	旅順重砲兵大隊	自四月一日至同四日	旅順重砲兵大隊內
遼陽	步兵第四十聯隊	自四月一日至同二日	步兵第四十聯隊下士集會所
鐵嶺	步兵第十聯隊	四月一日	本部步兵第十聯隊內
公主嶺	騎兵第十聯隊	四月二日	騎兵第十聯隊內
安東縣	獨立守備第四大隊	四月四日	安東縣守備隊內

因に記す當地に於ける適齡者は即來月一日及二日の兩日遼陽の四十聯隊下士集會所に到るべきものなれば讀者の注意を要す

●**錢參贊歸奉** 兼て京津地方に出張中なりし奉天欽差衙門右參贊錢能訓氏は一昨日天津より歸奉したり

●**奉天驛の金銀換算率** 奉天驛に於ては一昨日より銀百圓に付金八十九圓五十錢の換算率に改正實施せり

天氣豫報 三月六日

……金物類、家事用金物器具類、建築用……
金物類。及各種金庫類。各種工場用器械類。
城內鐘樓南　きんらんでん筋

大連市場　外海洋行（電話三三九番）

今　渡邊大連支店　大連伊勢町四二番地（電話申込中）

營口　仝　電報未達
奉天の氣温（前日の分）（華氏）
平均　三十二度二
最高　三十二度二
最低　十三度六

奉天居留民會公示

公示第七號
明治四十年度上半期決算報告

歳入之部

		圓
第一款	手數料	一〇五、八〇〇
第二款	雜收入	一、六七一、五九〇
第三款	前年度繰越金	二、九八一、三三〇
第四款	寄附金	二〇〇、〇〇〇
第五款	賦課金	一六、六四五、七九〇
計		二一、六〇四、五一〇

歳出之部

經常費		
第一款	事務所費	二、七〇八、八九〇
第二款	會議費	四五、二八〇
第三款	學校費	三七、四三〇
第四款	病院費	三、〇八三、三三〇
第五款	健康診斷所費	一、九二五、八〇〇
第六款	衛生費	四〇、九五〇
第七款	雜支出	二四〇、〇〇〇
第八款	豫備費	三三三、七三〇
臨時費		
第一款	創立費 健康診斷所新築費	二、一七一、一六〇
計		一一、二八五、四七〇
歳入總計		二一、六〇四、五一〇
歳出總計		一一、二八五、四七〇
殘高		一〇、三一九、〇四〇
内		
前年度繰越金及本期剩餘金中より支出高		三、三三七、〇八〇
下半期繰越高		六、九八一、九七〇

右公示す
明治四十一年　月　日
奉天居留民會長臨時代理者　末松偕一郎

小説「都會」風壞事件
一時傍聽禁止……

二月一日發行の「文藝倶樂部」に掲載したる生田葵山の小説「都會」の一篇が端なくも其の筋より風俗壞亂の作として告發せられたるは文壇近時の出來事として遍く世の注意を惹きたるが其公判は豫記の如く去二十七日を以て東京地方裁判所刑事部第二號法廷に於て開かれたり今其模樣を報道せんに

▲傍聽人山の如し　文壇に自然派横流の昨今なればこの事一度世に傳はるや倏ち青年男女間の問題となりて何れも其の公判開廷に鶴首し殊に被告文藝倶樂部編輯人石橋思案同著作者生田葵山以外巖谷漣山人の如きも自然派の爲め法廷に氣焔を吐くべしなど傳へられし爲め其の人氣は非常なるものにて豫期の定刻九時前より犇々と詰めかくる傍聽人は男女學生大部分を占め巖谷漣山人、德田秋聲、田山花袋等の文士連も交りて五百餘名に及び開廷遲しと法廷外の廊下に人波打つて押寄す有樣は物凄きばかりにて軈て定刻を遲れ十一時十分開廷となるや我先きと差して廣からぬ法廷へ流込む勢は又一層にて物好き女學生の頭髮を壞され袖を破かれて而かも遂に得入らず澁面作りて引返すも多く法廷は二百人計りにて直に滿員となり殘りの三百人は苦情たらたら可惜ら骨折り損にて歸り行くも可笑しく殊に可笑しきは石橋思案が同じくこの群衆に揉まれつゝ入廷せんとせしを警戒の巡査が最う滿員なれば入られずと云ひしに「私は被告です」と威張つて這入りたるなぞの滑稽もありたり

▲葵山の粉裝　是れより先きこの群集混雜の裡に「都會」の著者被告生田葵山は十時頃フロックコートの扮裝にて出頭したるが病褥を押して離れたることゝて窶れたる姿の類には剃刀を當てぬ疎髯を透きて肉色の蒼ざめたるに被告の名さへ添ひて何となく痛ましげに見受けられ其れと見て德田秋聲、漣山人等が近づき迎へて慰むるや葵山は寥しき微笑を浮べつゝ謝辭を返して「自然派の爲めに十分氣焔を吐く積りでしたがまだ身躰が快かないので實は延期を願ふと思つて居たのを期日が迫つた爲め已むなく無理に出頭したので何うも氣分が勝れません云々」と語る内も氣息苦しげに見受けられたり

▲公判開廷　葵山に遲るゝこと三十分にして被告の一人石橋思案例の鼻眼鏡にて出頭するや十一時十分開廷を宣せられ今村裁判長、小山立會檢事、辯護士渡邊輝之助同宮島次郎、同平山修着席にて被告を呼入れ裁判長は小山檢事の請求により本件審理中風俗壞亂に亘るの虞れある場合には裁判の公開を禁止すべしと告げ之れより愈々審理に移りたり

▲被告葵山の陳述　裁判長は先づ被告生田葵山に向ひ小説「都會」中風俗壞亂に相當すると云ふ個所を摘讀し其卅九頁に川俣廣太郎の言葉に「奈何思つたつて爲方がないぢやないか惩うなつて了へば」とあるは明らかに姦通を意味し居るにあらずやと訊問せしに被告は「手を握つたり接吻位は爲て居たかも知れません」と答へたるに裁判長より言葉を愼むべしと注意され結局被告は「都會」の文字が一般讀者に醜汚の感を起さしむるものと思はざる旨を陳述せり次に被告石橋思案に對して訊問ありたるが葵山と略ぼ同樣の答辯を爲し之れにて事實の審問を終り愈々撿事の論告に移りたり

▲裁判公開を禁止さる　小山檢事起立して被告生田の當法廷に於ける辯解は理由なきものなりとて辯駁を加へんとするや裁判長は裁判公開を禁止すと宣告せり傍聽人一同は愚痴たら〳〵にて退廷したるが婦人連の中には案外に面白からずとて立歸りたるもの多かりし斯くて正午休憩し午後二時廿分に至りて再び開廷され傍聽人は雪崩を打ちて入廷し非常の大混雜なりしが數名の警官に制せられて漸く鎭まり茲に辯護人の辯論は始まれり

▲渡邊辯護士曰く　一体風俗壞亂とは何を標準として判斷するかと云ふに之れ頗る困難なる問題なり例ば昨日見て醜となせし事も今日之を見て美となす事あり畢竟するに動機感念は時々刻々に變遷するものなり大審院は一見羞耻の念を起さしむるものは風俗壞亂なりと定義を下し居れど之れ實に取るに足らざる愚論なり然らば何を以て標準と爲すべきか先づ一般の習慣を以てするの外なかるべし姦通は其事固より醜なりと雖ども之れを描寫したるものを以て直に醜なりとは斷じ難し要は唯描寫の如何に在り元來警視廳及內務省等には文學の價値を知れる者なく其警保局長の如きは浪花節に於ては大家なるやも知ざれど文學に掛けては全く零なり坊間傳ふるものゝ言を聞くに出版物中軍事若くは宮內省に關するものは一層取締を嚴にせりと本件小説中の川俣廣太郎は宮內省の官吏なるが田村忠藏の妻お友は某海軍將校の醜聞事件に關する婦人お愿に類似せるものあるを以て或は其の筋の忌憚に觸れたるにはあらざるかと夫れよりして檢事の論告を駁して一顧の値だもなしと辯じたり

▲宮島辯護士曰く　本件の小説「都會」の如きは正に人生問題の解決を與へたるものにて斯の如き高尚なるものはあらじ之れを見分くる能はざる者が文學を云爲せんとするは片腹痛き次第なり云々

▲平出辯護士曰く　元來法律を以て文藝を抑壓せんとするは不都合なり予を以て之れを見れば寧ろ五人十人乃至百人の人を傷ふも文藝の爲には特別の保護を與へられたきものなり云々

▲裁判言渡期　以上辯護人の辯論終るや小山檢事は各辯護士の辯論を反駁し終つて裁判長は來三月五日正午裁判を言渡す旨を告げ午後五時閉廷せり

▲緊急社告▼

我紙は來る十日奉天紀念日の盛典を祝し且つ愛讀者平素の眷顧に酬ゐんが爲め記事の材料を精選し頁數を倍增すべく是等諸般設備の都合上來る八日（日曜日）一日だけ臨時休刊す

滿洲日報社

●情夫の爲に詐僞

奉天十間房に大工職木村鬼彥とかいふ男あり同性を稱するおヨネ（三十）なる女は女房のやうでもあり妹とのやうでもあり又チヽクり合つた情婦のやうでもありとの世間の噂ドチラが眞個やら能くは解らねど二人の間には何か餘程切破つまつた金の入用が出來たとみえ夫れぢや待たしやんせ妾が調金えるほどに少しはつらひ事も辛抱してと勸平おかるの別れ塲其のまゝ背を合したりツンとしたり泣いたりいぢらしいほどの愁嘆塲を演じて安東縣三番通の料理店綠屋といふに行き妾の弟が病氣をして難儀をして居れど女の不甲斐ない手一つではトテも醫藥の料も出來ず彼方を見ても此方を見ても人情紙より薄き他人ばかり誰れに相談しやう摸樣もなく詮方なさの妾の覺悟奉天では人目もあり此地で身を落さんつもり何卒妾の切ない胸の内不憫ぢやと思ふて夫れ丈の價値もあるまじきが前借として七十五圓だけお借し下されと淚ながら實しやかの哀願に夫れぢや此方も丁度宜いのと相談が圓くなりて七十五圓を手渡しすればおヨネはフヽンと赤き舌をベロリと出し大願成就と打喜び二月九日午前七時頃同屋を飛出して奉天へ逆戻りサヽ嬉ばしやんせ此方の人とイチャ附居るより被害者の綠屋では何ツ己れと告訴したるより去る二十七日附安東警察署より當警察へ事實取調方を通知し越せり

●職工指環を飲む

日外も本紙に掲げた通り罷り間違ふと人間が糀になつたりする世の中故近頃は又指環を飲むといふ妙な藝當をやらかす職工があるといつた丈では分り兼るが本年一月三日の晩の事福岡縣田村郡三番町字八幡町當時滿鐵奉天驛機關庫職工小林幸次郎（四十）といふ奴仝庫主任岡本某の指環を盜み取り素知らぬ顔して已が宿舍に仕舞置き仝八日の晩二三のテレ助と十間房は末廣亭に浮かれ込み飲めや騷げやの底拔をやらかし勘定の時件の指環を懷中より出し遊興費の抵當となし爾來何喰はぬ顔に濟まし込んで居たるも天網恢々遂に其筋の探知する所となり去る三日トウ〳〵例に依て御用

●共同丸破損

去る二十七日大連出帆の第六共同丸が埠頭を離れんとする時二個ある推進器の中其一方を棧橋附着の浮枕に衝き付けて軸を破損しながら夫れと氣付かず進航を繼續し芝罘へ入港して始めて破損ある事を發見せしが昨今苦力輸送の最盛期なれば此儘航海を續行するやも知れずと破損したる船体を以て人の生命財產を搭載するとは慮外千万なり

●大業なかけ込願

鐵嶺西門外の吉野樓は平素より抱女は勿論登樓の客に對しても兎角冷淡なる取扱をするので時々警察の御手數を煩はし居るにも不拘二三日跡も只今登樓客にして亂暴を働き危險な所爲をなす故至急御出張被下度しとの申出に打捨て置かれず出張の上事實を取調べしも彼等が訴へし如き大層な事なく言はゞすねに疵持ちや笹原よけるの例言にて日頃より自分の行爲が惡しきため又如何樣な間違の起りも斗られずと思ひ前記の如き大業なる訴をなし其筋に厄介を懸けたる事とて反つて反對に說諭を受けしとは實に困つだヒョオ六玉と言ふべし

●在留禁止

兵庫縣宍粟郡安師村平民當時奉天十間房原田新吉（八十）は當地方の安寧を妨害し風俗を壞亂せんとするものと認められ三月五日より向ふ二ケ年間清國に在留することを禁止されたり

●大連救濟所昨年の收支

同救濟所昨年間の收支決算を聞くに收入金二千一百七圓五錢にして支出金一千八百四十九圓四十六錢差引殘高二百五十七圓五十七錢なり之を本年度繰越金とし保管すべき筈なりと尙昨年に於ける寄附金總高一千余圓にして其收容婦人の工作賃收入高は四百五十余圓なりしと云ふ

●健康診斷

一昨四日十間房健康診斷は受撿者五十二名入院者二名欠席三名退院五名現患者四十七名なりしと

默想小説　這の門（四）
ツルゲネフ作　白帝宮譯

「生命を捨てなければならぬ？ 夫れは最う疾つくに覺悟して居ます」

「併し乍らお前の身體は。丁度舵を損つた灘小舟と同樣ぢや夫ても未だ這入らうと謂ふのか」

「はい？ 夫れも詳知して居ます。仕方がありません何事も運命で御座います。假令憂き節が浪花の葦と繁くあらうとも、妾の決心は毫しも動きませぬ！」

「して見ればお前は亦た犧牲になる絆も平氣だな！」

「はい」

「而かも其犧牲と謂ふのは。無名の犧牲ぢや。お前が斃れても。誰れも。誰れもお前の斃れた理由を知つて與れない。だからお前の空骸を弔らうて與れる樣な人迚も無い」

「同情も。憐憫も妾は餘程以前に捨てゝ居ます。ですから。名を買はふと謂ふ野心も起りませぬ」

「好矣！ おやあお前は進んで罪惡を犯かす勇氣があるか。」

聲は凛手として古樓の裡に硬く響いた慘たる森嚴は。次第に身に逼る。乙女は雲時首を傾むける。

家庭
衣裳の着かた

衣服の着かたなぞと云ふものはこれは其の人々の身體つき或は格好癖などによりまして着るもので御坐いますから一槪に何う斯うと云ふことは出來ませんしかし衣服の着かた次第でよくも見え惡くも見えまた意氣にも見え野暮にも見えるといつたやうなことはあります

△帶の締め方　帶は先づ上の方に締めてそして堅く締めた方が總じて好格がよいやうで御坐います衛生には何う云ふものか知りませんが下の方へ締ると妙に背が何んだか長く見えまして甚だ不格好に見えます

△衣紋をつくる事　それから衣紋は少し作つた方が格好がよいやうに思はれますこの節は大分女學生の方なぞは衣紋をつくらずに襟を被つてゐらつしやいますがあれは何うも他から見て格好が惡いやうで御坐いますさりとてまた衣紋を馬鹿に作り過ぎるのも下品に見えまするのみならず何んだか可笑しいもので御坐いますで衣紋は程よくつくつた方が見よいやうに思はれます

△衣紋のつくり初めのは私は斯うじやないかと思ひますこの衣紋をつくると云ふものは初め――それは無論まあ見よいとか格好がよいとか云ふ所から來たのでもありませうが――しかし一ツは矢張り經濟上から來たのではあるまいかと私は思ふので御坐います何故かと申しますとこの衣紋をつくるとつくらないとでは大變に襟の汚れが違ふので御坐いますそれでまア何日誰がやるとはなしに初めたのがそも〳〵衣紋をつくると云ふことの嚆矢ではあるまいかと思はれますだが併しこれ只今一寸頭に浮びましたことで別に研究したの何んのと云ふのではありません

讀者文園
（投稿隨意　一篇十五行）

あゝ古郷よ
益野　不迷

水清くして澄める阿武川は萩町と僕の生れた松本村との境になつて居る。この橋を渡ると老松一本河面を覆ふて、この村へ入り來る人を心から歡迎するやうに見へる。河畔に添ふて少く遡ぼると梅の古木の澤山ある內がある、此處は故品川子爵の呱々の聲をあげた地で、其の側がすぐ僕の家だ。吉田松陰先生の松下村塾も遠くはない、僅か數丁で明治の元老を產んだ當年の俤が偲ばれるのだ。特產は夏橙柑で、夏の眞盛りに來て見たまへ、綠陰のもとに、これを味はうのは滿洲邊へくる膓りか、つたものとは同日の論でない。空氣の新と魚の鮮とは大いに誇るに足るのだ。名にし負ふ日本海の四季折々の風景などは、ラスキンでもつれて來なければとても之を筆に描くことは出來まい。況んや僕に於てをやだ。僕は今この風物に接せざること既に三年。朝夕思鄉病に悶へつゝあるのだ。あゝ古郷よ。

偶成
英峰

晴空莫々望將迷。江水湛々泛一鷗。休道世間心痛事。乾坤都是好詩題。

人乃声

●（A）滿洲に於て新聞經營を爲す既に愚也新聞發展の爲に競爭的態度に出づる向更愚の極也馬鹿〳〵骨頂也競爭とは或意味に於て破壞的也他を破壞し自らを破壞するといふ事也（B）在滿邦人は僅々五万に過ぎず其內新聞購讀者は二千を上らざるべし二千の讀者を相手にする新聞の數今將幾何ぞやドノ新聞も算盤珠に掛らぬと理の當然のみ（C）在滿邦人は事實に於て立憲的に支配せられず非立憲的に支配せられ居る也新聞業は立憲の土地に發展し進歩するものにして非立憲の土地には失敗し滅亡するもの也滿洲に於て新聞經營を爲す既に根底より間違つた事也不量見の事也（D）之を要するに滿洲多數の新聞を合同して一新聞とし各要所に完全なる支局を設くべし發展する事受合也（新聞經營博士）▲戀愛の成効とは欺瞞、籠[illegible]弄、詐僞の成効といふ事也由之助とお蝶との間能く之を立證す（色事士）〇〇さん人の女房に余りベチャ〳〵すると素破拔ぐぞ（十間房偽男）▲金城館の金之助と金奴は三日女房だつて貴社に出たけれどもアレは全く嘘ですよ（水の子）▲ア、意氣消沈予が氣焰は揚らず予が腕は振はずだ（アルコール生）▲皮肉大明神此頃はいかゞです手の裏を反すことは止したの（郵便局）▲吾は飄々乎として風に御し彩票が當れば鐵嶺丸の甲板上に明月の詩を誦し乍ら內地に還らん（哀觀子）▲照ちゃんを賞めるのは賞める譯があるから賞めるのよ朋輩だもの可い事は可いと云ふのは當りまへだわ妾は女として敬ふ可き方だと思ひますの…………ですから何方でも一日も早やく浮川竹の境遇から放れる樣にして上げて下さい朋輩の妾がお願よ（みと子より）

特別廣告

奉天紀念日祝賀會廣告

一、當日開閉時間
餘興　正午十二時より開始
宴會　午後二時開始
各摸擬店　午後三時より開始
仝　閉鎖午後七時

一、宴會券は本日より左之各店に於て發行致し候間希望の方は來る八日迄に申込まれ度候

四平街　關東洋行本店
大南門通　廣福洋行
小西關　廣濟堂藥房
小西邊門外　關東洋行出張店
十間房　千賀洋行
仝　日の丸旅館
附屬地　宇都宮支店
仝　奉天倶樂部
仝　岩井洋行

明治四十一年三月五日
奉天紀念日祝賀會開催事務所

寄附金人名

一金四拾圓　横濱正金銀行奉天支店
一金四拾圓　三井洋行
一金貳拾圓　大倉洋行
一金貳拾圓　大倉土木組奉天出張所
一金参拾圓　奉天在鄉軍人會
一金五拾圓　濟國應聘者一同
小計金貳百圓
奉天紀念日祝賀會開催事務所

●活版　職工募集廣告

熟練なる植字職工　數名入用
右希望者は至急奉天本社又は大連支社（信濃町）へ來談ありたし

滿洲日報營業部

廣告

日本郵船會社 滊船出帆
●山東丸 七日午後四時太沽行
●淡路丸 八日正午長崎佐世保行
●高砂丸 八日午後四時太沽行
●神戸丸 九日前十一時門司宇品神戸行
大棧橋より發船可致候
日本郵船株式會社大連出張所（電話二一〇番）

大阪商船會社 滊船出帆
●天草丸 七日正午門司神戸行
●鐵嶺丸 十日正午門司神戸大阪行
大棧橋より發船可仕候
大阪商船株式會社大連支店（電話二三〇番）

松茂洋行 滊船部 出帆
●御代丸 十三日午後四時門司行
●瓊浦丸 七日後四時門司長崎行
●能登丸 八日後四時門司四日市行
●久留加多丸 十二日午後四時門司横濱行
●第二小樽丸 十二日後四時門司行
●朝顔丸 十日午後四時門司神戸大阪行
大棧橋より發船可仕候
大連市監部通り二丁目（電話二五九番）
河邊商店大連出張所 松茂洋行

資本金二千四百万圓
積立金千五百五万圓
本支店出張所
横濱、神戸、東京、長崎、大阪、倫敦、里昂、紐育、桑港、布哇、孟買、香港、上海、漢口、天津、北京、旅順、遼陽、芝罘、牛莊、長春、安東縣、鐵嶺
横濱正金銀行 奉天支店
電話（十一番 十二番（支配人室））

日本火災保險會社代理店
發賣千金寨煤炭
奉天城裡鐘樓南皮行胡同
三井洋行（電話三五）

内外科 産婦人科 齒科 入院隨時
營口永世街（電話一五五番）
森病院 院長 森矯

撫順 塊炭 切込炭 粉炭 大販賣
奉天回回營胡同
有隣洋行（電話三一〇番）

まちや
大連市磐城町二二
大神支店

サ 白米
大連市信濃町三十二號地
齋藤大連出張所

御料理 遼陽 梅廼家

土木建築請負
煉瓦石灰石材
及び各種建築材料
●大連●營口●長春●公主嶺●湯崗●張臺子●鐵嶺●奉天●遼陽●廓家店
飯塚工程局

●煙草●雜貨
●和洋食料品
奉天鐘樓南（電話二十八番）
千賀洋行
奉天小西邊門外（電話五十六番）

鷲ミルク
米國直輸入
營口 加藤洋行

御寫眞
奉天大南門内 永清寫眞館

會席御料理
金城館
奉天小西關北大什字街（電話一九番）
高等御旅館
金城ホテル
奉天大西關南大什字街（電話二〇番）

會席御料理
奉天日本町 月ヶ瀬（電話一二六番）

御手輕御料理
古道具賣買
日本町 吉田屋本店
仝 吉田屋出張所

鐵嶺東洋號
中島精太郎（電話五七）
容量四斗七升詰重量二十七貫以上

蜜柑 魚類 罐詰
御問屋 山崎洋行
奉天小東門内魚行胡同三三五
廣く委托販賣仕候

燈界霸王

●燈光純白火力宏大にして世界燈の稱あり
●石油を使用すと雖も化學作用により之を瓦斯に變するを以て煤少の煤烟もなし
●使用石油の量一時間僅に三勺極めて經濟に適す
●使用石油は何種を論せず之を使用するを得
●構造堅固にして美麗なるを以て官衙勸工場劇場等の如き多數人の集合する處に使用するに最も適す
奉天鐘樓南大街
時計商 鈴木淡海堂

うどん そば 更科
奉天小西關金城ホテル前
仝日本町 更科
從來うどん八錢の處自今五錢に値下げ仕候

御料理 日本町 日の丸亭

御旅館 日本町 日の丸館

會席御料理 玉や
奉天小西邊門外 電話一三九

和洋諸雜貨 食料品 精米 卸小賣一切
奉天十間房 秦豐商會 主任秦豐壽

齒科醫 町田新八
奉天公立病院内

奉天紀念日祝賀會

來ル三月十日奉天紀念日祝賀會ヲ展覽會構内ニ開催スルニ付居住邦民各位擧ツテ參集遊覽セラレタシ

一 當日ハ祝意ヲ表スル爲各戸國旗ヲ掲グ終日休業老幼男女ノ別ナク可成多數來遊ノコト
一 當日會場ニハ各種ノ模擬店ヲ開設シ遊覽者ノ隨意使用ニ供ス
一 當日會場ニハ文士劇。擊劍。角力。手踊等多數ノ餘興アリ
一 當日ハ構内本館ニ於テ有志ノ祝賀宴會ヲ設ク
但シ會費ハ奉天票武圓トシ豫メ宴會劵ヲ發賣スベキニ付希望ノ方ハ最寄發賣所ニ申込マルベシ（發賣所ハ追テ廣告ス）

右祝賀會開催ノ費用ハ專ラ有志ノ寄附金ニ之ヲ仰キ度仍テ乞フ各位應分ノ御寄附アランコトヲ

一 寄附金締切 三月十日限リ
一 仝 申込所 奉天紀念日祝賀會開催事務所奉天居留民會内
一 仝 受領證 奉天公報、滿洲日報、内外通信ニ掲載スルヲ以テ之レニ充ツ

奉天紀念日祝賀會 發起人一同

會席御料理
十間房路南 福屋（電話一四四番）

會席御料理
日本町 戎館

會席御料理
今回内地より藝妓酌婦多數呼寄せ申候
清國奉天十間房 深川

會席御料理
奉天十間房 五角

會席御料理
奉天大南門裏大街 梅松館

諸雜貨洋服諸材料御賣
最新流行洋服裁縫調進
裁斷は歐米新式流行に後れず裁縫は細密丁寧を旨とし價格は勉強本位にて各位の御注文に應ず
奉天大東門裡大街
怡信洋行 電話（三一一番）

高等旅館
鐵嶺 松華ホテル（電話一一〇）

周旋業
奉天十間房中程 山下眞佐雄
料理人組合事務所

會席御料理
奉天大西門内 水晶館

種目
米穀 薪炭
酒類 食料品
其他雜貨
大町十五號地
小林組
店主 小林喜正
電話番號 二三五

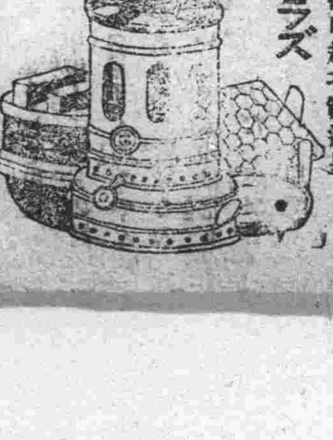
會席御料理
奉天十間房 花月

私儀從來公立病院に奉職候處今般都合のため辭職し左記所に開業仕り候間御愛顧を希上候
奉天小西關三船寫眞館内
産婆 野津タミ

齒科專門
奉天小西門裏路北
津田敬吉

内外化粧品卸部
忠恭洋行
大連市盤城町一六二
丸越呉服店
呉服太物小賣部
大連市盤城町三八

ラムネ製造所
日本賣藥商 廣福洋行
奉天大南門裡大街

文明厨爐 無煙無臭
便利重寶
一例
手間少なき人自炊者に最適
來客ありたる時
病人ありたる時
一名下女イラズ
●詳細は御申越次第進呈

夏季に涼し冬季に暖到る地に適すさし
製造販賣元 大阪本町通渡邊筋角 島田支店（電話東一三三六番）
滿洲取次販賣 營口元神廟街 小宮山洋行

撫順石炭大販賣
奉天十間房路南
裏松商行
●御用命次第配達可仕候間多少に拘はらず御注文の程奉願上候

玻璃製造所 玻璃器卸商
奉天大西門外廣全道日本展覽會裏門前
穗積商行（電話二三一）
奉天小西門裏牛馬行支店
鐵嶺大神廟街支店
長春北大街支店

○大連寛城子線
○大石橋營口線
○京奉鐵路發着時間表
[illegible]